

平成 26 年度 大阪府立河南高等学校 第 1 回学校協議会 記録

〔 日 時 平成 26 年 5 月 22 日 (木) 15:00～16:30 〕
〔 場 所 本校校長室 〕

1 校長挨拶

- ・インターハイ出場等、生徒の活躍を紹介。
- ・今後一層、クラブ・行事ともに学力向上に力を入れていく。

2 協議会委員、事務局職員の紹介

3 協議会設置要項及び運営計画について

4 協議会会長の互選

5 議事

(1)現状報告

- ① 入学者の状況等 (教務部長)
- ② 卒業生の進路状況等 (進路指導部長)
- ③ 自治会の活動状況 (自治会主担)
- ④ 校長からの資料説明

- ・ 昨年のラモス氏の特別講演会の様子

夢をあきらめない・我慢する・家族を大切に作る、君たちも練習次第で J リーガーのようなプレーができる。

- ・ 生徒自治会役員の声

学校のトイレをきれいにしたい・外から見えないようにしたい、世界で活躍している人の話を引き続き聞きたい。

(2)質疑応答・協議

Q. 自治会の活動は？

A. 学校行事の企画・運営、挨拶運動、目安箱設置、生徒の意見を学校に提示、リーダーの発掘・育成など。

Q. ベネッセのスタディーサポートの結果は？

A. 成績が上がり、学習時間も他校と比べても落ち込まず踏ん張っている。

Q. 大学進学率が 10%ダウンした理由は？

A. 資格志向の表れか、看護医療系の専門学校で資格を取り就職希望する生徒が増えている。

- 生徒がいろんなことに自発的に取り組んでいる。これが河南の強み。学校がすべてのメニューを用意し、チューターや自習室を完備するのは、ある意味でいい環境ではあるが、それで生徒の活力が上がるとは思えない。当事者は生徒。河南高校に「生徒発学びの場」が生まれることを期待する。
- 「クラブがしたい」「行事が出来る」「通学時間もかからない」ということで、パワーのある生徒が河南高校にきている。私学とは違った活動を提供してくれることを求めている。この生徒達に目標を持たせ、「知徳体」で生徒を引っ張ってもらえれば、生徒はしっかりついてくると思う。
- 大学では過去にいじめを経験した学生が半数以上おり、それをどこかでくぐり抜けて来ている。友達を自分を支えてくれるもの、いい友人に巡り会えたと思えたらそれはとても良いことだ。河南高校には生徒同士で支え合う環境がある。これを大切にしながら、日頃手応えを感じるものや知的好奇心に結びつくものを生徒に掴んでいって欲しい。そうすればすごい力になる。
- 河南高校には、兄弟姉妹で来たり親子三代で卒業したり、地元からの期待は大きい。

6 次回連絡

第 2 回学校協議会 10 月 23 日 (木)

第3回学校協議会 1月29日(木)